

事務事業名		都市公園機能強化施設整備事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	公園・緑地の整備			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)		01	08	05	04	04
根拠法令	都市緑地法第2条			☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 20 年度 ～ 22 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入							
所属	部課名	都市整備部都市計画課									
	係 名	公園緑地係	電話	0192-27-3111							
			内線	323							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画 (※期間限定複数年度のみ)				
加茂公園及び笹崎公園について、まちづくり交付金事業を活用し、公園が持つ各種機能を高めるための施設環境の整備を図るため、防災関連施設をはじめ総合的な施設整備工事を行う。 主な業務は、①公園整備計画に関する地域懇談会の開催、②工事の設計と積算、③工事発注及び契約、④工事監理、⑤完成検査と工事費の支払いである。 事業費は、設計積算に必要な用地調査測量業務や工事費用として支出される。							総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金	32,200	
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源	48,560	
									事業費計 (A)	80,760	
人件費	正規職員従事人数	3									
	延べ業務時間	2,700									
	人件費計 (B)	10,800									
	トータルコスト(A)+(B)	91,560									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段 (主な活動)	⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
	名称	単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)	ア	地域懇談会の開催回数	回
加茂公園整備2期工事の実施	イ	整備工事箇所数	箇所
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)	ウ		
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
	名称	単位	
公園利用者、公園施設	カ	公園施設の要整備箇所数	箇所
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ		
	ク		
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
	名称	単位	
公園・緑地としての良好な機能が確保されている。	サ	公園施設の整備率	%
	シ		
	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円				6,200		
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円				47,100	14,231	
			その他	千 円						
			一般財源	千 円			9,512	2,412	750	
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	15,712	49,512	14,981
	人件費	正規職員従事人数	人				3	3	3	
		延べ業務時間	時 間				1,350	1,350	450	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	5,400	5,400	1,800	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	21,112	54,912	16,781	
⑤活動指標			ア	回				2	0	0
			イ	箇所				1	1	1
			ウ							
⑥対象指標			カ	箇所				24	24	23
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	%				29	29	29
			シ							
			ス							

事務事業ID	1182	事務事業名	都市公園機能強化施設整備事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成18年度から実施しているまちづくり交付金事業の導入のため、大船渡港湾周辺地区を対象とする都市再生整備計画策定の際、以前から地域要望のあった加茂公園及び笹崎公園の施設整備について、早期実現と整備にかかる財政負担を考慮し、当該計画案に盛り込んで事業を進めてきた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成18年12月から「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことに伴い、移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準や促進に関する基本方針が定められ、都市公園施設の総合的な整備が求められている。

また、近い将来、高い確率で発生すると予想されている宮城県沖地震等の災害に備えるため、地域の防災意識が高まってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

以前より地区及び地域公民館や公園利用者等から、公園施設の整備について要望されている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 公園施設の拡充整備により、公園の持つ各種機能が高められ、利用者が安全かつ快適に利用できるようになり、都市環境の改善につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共の施設として市が設置し、管理運営している公園である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 大船渡港湾周辺地区を対象地域とし、その中の都市公園を対象としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 整備計画の立案に当たっては、利用者並びに管理作業の中心担い手となる地域公民館等との懇談を重ねており、既存公園用地内で諸施設の導入内容及び配置計画が十分に検討されてきている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 整備計画額が大きいので、単独では多額の財政負担を伴う事業とされ、整備が遅れることとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 現在実施している事業で活用できる類似の事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 目的を達成する上で、必要最小限の基盤整備と考えられる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 用地測量調査及び設計業務において、経費や成果面から外部委託が合理的と考えられるものは、委託で実施している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担はない。

事務事業ID	1182	事務事業名	都市公園機能強化施設整備事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果（2枚目と整合を図ること） <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 請負業者の倒産により繰越事業としたところもあったが、予定工事を全て完了し整備することができた。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） 計画事業は、全て工事完了した。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

（職 名） ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	都市計画課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準（1次評価の記述内容を読んだ段階で選択）
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準（2次評価を行った後に総合的に判断して選択）
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている（事務事業の問題点、課題が認識されていない）
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている（事務事業の問題点、課題が認識されている）

(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 まちづくり交付金事業の導入による大船渡港湾周辺地区の整備であることから、対象となる公園、また、事業年度も限定されているが、事務執行については適切になされている。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												

(4) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） 加茂公園の整備計画が繰越となっていることから、地域からは早期に完成を望む声強い。したがって、可能な限り早期着工に努め、年度内の円滑な事業推進を図っていく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
